

施策評価調書(30年度実績)

政策体系	施策名	豊かな自然との共生と快適な地域環境の創造	所管部局名	生活環境部	施策コード	I-4-(1)
	政策名	恵まれた環境の未来への継承～おおいたうつくし作戦の推進～	関係部局名	生活環境部、農林水産部、土木建築部	長期総合計画頁	49

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③	④
取組項目	自然や生物多様性の保護・保全と適正利用の推進	快適な地域環境の保全と創造	温泉資源の保護と適正利用の推進	日本ジオパークなどの地域資源を活用した地域振興の推進

【Ⅱ. 目標指標】

i	指 標	関連する取組No.	基準値		30年度		元年度	6年度	目標達成度(%)					
			年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	目標値	25	50	75	100	125
	NPOとの協働による生物多様性保全活動の実施件数(件)	①	H26	80	88	90	102.3%	90	96					

【Ⅲ. 指標による評価】

i	評価	理 由 等	平均評価
	達成	希少野生動植物の保護や特定外来生物の駆除、里山の保全など、幅広い保全活動をNPOと協働して実施したことにより、目標値を達成した。	達成

【Ⅳ. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	<ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性が豊かな自然環境地域の中から法的規制などが無い又は弱い地域を中心に「おおいたの重要な自然共生地域」として23地域を公表した。 ・生きものを育む農業を学ぶ研修会を開催し、生物多様性について県民の理解が深まった。 ・県北西部で急増している特定外来生物のアライグマについて、3市2町の7地区で説明会を開催し、地域の防除体制を整備した。また、捕獲やDNA分析等による生息状況調査を通じて、拡散の傾向や要因を把握することができた。
②	<ul style="list-style-type: none"> ・イオン環境財団及び竹田市との共同による「豊かな国の森づくり大会」の開催やNPO等による森林ボランティア活動の支援などを行うことにより、森林をすべての県民で守り育てる意識の醸成が図られた。
③	<ul style="list-style-type: none"> ・温泉法に基づく掘削や動力装置の許可について、適正に処分を行った(件数:掘削及び増掘許可60件(うち地熱発電4件)、動力装置許可21件)ことにより、温泉資源の保護と利用の両立が図られた。 ・地熱発電関連の温泉掘削申請について、申請事業者の円滑な事業進捗と温泉資源の保護・適正利用を図るため、地熱関係運用指針を作成した。 ・別府市内の温泉掘削地域規制を見直し、保護地域の拡大を行った。
④	<ul style="list-style-type: none"> ・姫島、豊後大野両ジオパークの活動を推進するため、看板設置やガイド養成等に対する助成を行い、受入れ態勢の充実を図るとともに、日本ジオパーク全国大会2019おおいた大会開催に向けて実行委員会を設立して準備を開始した。 ・ユネスコエコパークの認知度向上のため、小学生向け解説冊子の製作や福岡県等でのPR活動を行った。また、エリア内の様々な分野の地域活動団体の交流を行い、自然と共生する地域振興を進めた。

【Ⅴ. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(30年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	元年度の方向性	
①	生物多様性保全推進事業	27,093	A	継続・見直し	100
②	中山間地域等直接支払事業	1,841,984	A	継続・見直し	214
	農業農村多面的機能支払事業	987,212	A	継続・見直し	216
	(公)海岸保全事業(河川)	106,209	-	-	222
	(公)港湾環境整備事業	78,672	-	-	223
	県営都市公園施設整備事業	733,070	-	-	224
	県営都市公園里山利活用推進事業	3,809	A	継続・見直し	225
④	おおいたジオパーク推進事業	39,409	A	継続・見直し	101
	祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進事業	17,687	A	継続・見直し	102

【Ⅵ. 施策に対する意見・提言】

<ul style="list-style-type: none"> ○おおいたの重要な自然共生地域検討委員会(H31.1) ・生物多様性への理解促進を図るため、アドバイザー派遣や説明会の開催を検討して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○第9回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会(H30.7) ・2019年11月に日本ジオパークの全国大会が開催されるが、一つの行事で終わらせることなく、地域の産業振興、人材の確保、地域課題の解決に繋がる議論がされるとよい。
---	--

【Ⅶ. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・おおいたの重要な自然共生地域へのアドバイザー派遣や説明会の開催を行う。 ・県北西部で急増している特定外来生物アライグマについて、地域の防除体制を充実・強化するとともに、生息状況の調査・分析を行う。 ・森林づくり活動や里山林の保全利活用等の支援、次世代の森林づくり活動のリーダーとなる人材を育成することにより、県民総参加の森づくり運動を推進する。 ・温泉資源の保護と適正利用を推進していくため、基礎データとなる温泉現況調査及び賦存量調査を実施する。 ・日本ジオパーク全国大会2019おおいた大会の成功に向け、姫島、豊後大野両ジオパークとともに地元ジオパーク関係者や小中高등학교、商工関係者等と協働で取組を進める。 ・ユネスコエコパークの知名度向上やエリアへの誘客を図るため、ユネスコエコパークを学習し、楽しむことができるよう学術的な研究を進めるとともに、周遊ルートの設定を行う。